

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	吉川市商工対策審議会
開 催 日 時	平成24年3月29日(木) 午前 午後2時00分から 午前 午後3時50分まで
開 催 場 所	吉川市役所保健センター2階集団指導室
出席委員(者)氏名	中嶋通治会長、田村正夫副会長、長嶋須美子副会長 松澤秀治委員、大倉健二委員、牧田昌己委員 水井澄人委員、山本博暉委員、小林聰子委員
欠席委員(者)氏名	中村光一委員
担当課職員職氏名	商工課長 鈴木正、商工観光係長 加藤利明 主任 山崎晴通
会議次第と会議の公開又は非公開の別	○会議次第 1 開会 2 委嘱書交付 3 会長選出 4 協議事項 (1) 平成24年度の事業について (2) 吉川市の商業について (3) その他(商業者実態アンケート) 5 閉会 会議 全部公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	・平成23年度第1回吉川市商工対策審議会次第 ・吉川市商工対策審議会条例 ・吉川市商工対策審議会委員名簿 ・吉川市商工対策審議会資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	田村 正夫委員 長嶋 須美子委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱書交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市商工対策審議会委員名簿の10名を委嘱する。 <p>3 会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に中嶋通治氏が選出される。 ・副会長に田村正夫委員、長嶋須美子委員が選出される。 ・議事進行は中嶋会長が進行する。 ・会長より議事録署名人について、田村副会長、長嶋副会長を指名する。 <p>4 協議事項</p> <p>(1) 平成24年度事業について予算と主な事業を事務局より説明 審議委員より意見、異議なし</p> <p>(2) 吉川市の商業について事務局より説明 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 商業者数、従業者数等の推移 2 商業活性化推進事業補助金の内容 3 商工業団体の今後の課題 4 大型小売店の進出状況 5 吉川市消費者動向調査の結果
大倉委員	<p>○審議委員の意見について 商業者数、従業員数等の推移で年間販売額の単位は円か万円単位か。</p>
事務局	<p>年間販売額は万円単位になる。</p>
大倉委員	<p>平成9年の売場面積が5万1平方メートルで、年間売上が約700億円なので、販売効率を示す月坪売上は約38万円となり、非常に高い数値となっている。</p>
事務局	<p>※補足 販売額数値は小売業、卸売業合算されているため、平成19年度で計算すると月坪売上は約22万となる。</p> <p>市内の千平方メートルを超える店舗を合わせると約4万平方メートルとなり、ケーズデンキやユニクスを除いても約3万5千平方メートルとなり、大型店舗が占めている。 吉川市の場合はほとんど、中小の店舗の売上がない現状か。</p>
田村副委員長	<p>すべての商店に調査を行っているが、回収できない場所もある。 傾向ということで参考にしてもらいたい。</p>
事務局	<p>年間販売額、売場面積は統計調査で回答いただいた中の数字となります。</p>

田村副委員長	統計調査の数値は少ないような気がするが、回収率は何パーセントか。
事務局	調査はすべての小売業、卸売業が対象となる。回収率は調査拒否などもあり、100パーセントにはならない。 今年の2月に統計調査があったが、調査項目がかなり細かい。
田村副委員長	調査書をださなかったり、うろ覚えの数字を書いたりしてしまう。そのため統計調査の数値は参考になるか疑問に思う。
大倉委員	全体の数値としてはおさえていないことは確かだが、統計調査の数値は概ね回答は得られていると思う。
田村副委員長	回収率は50%だとすると販売額も50%になってしまうので、全体でないとは参考にはならないと思うが。
事務局	年度ごとに数値がでていると傾向としてとらえられる。確かに統計調査で税務署にばれたら困るとかでごまかして、数値を記入することは考えられる。
田村副委員長	大きい会社は出して、小さい会社は出さないそういったケースもあるし、逆のケースもある。 前回出したけど、今回出していないというケースもある。 統計調査を出したささないで比較することは参考にならない気がする。
事務局	今回の数字は調査票を提出した数値となる。 提出していないところは数値から省かれているが、今話があった30%や50%の回収率ではない。 以前統計調査を担当して、未回収率は数パーセントから10数パーセントに感じる。
田村副委員長	回収率はかなりいいとの考えでいいか。
事務局	回収率は90%前後あると思われる。
中嶋会長	他に意見は。商工業を活性化するために皆様方の意見を頂戴いたしておりますので忌憚のない意見をお願いします。
水井委員	仕事柄県内、県外に行くが吉川のなまずに対する知名度が低い。 先日も県北にいったのですが吉川から来ましたという吉川とはどこですかと聞かれる。 次になまずの里吉川です。というとなまずってなんですかと聞かれるが、まず吉川という名前を知らない。 なまずの里といってもわからないので、今後吉川の売りとしてなまずをもっとPRしていくのか。ご意見をいただきたい。
事務局	平成8年になまずの里吉川として、なまずをまちおこしをしてい

事務局	<p>こうと取り組みを行って、駅前の金のなまず、なまずの養殖場もそのころに出来ました。</p> <p>料理屋でもなまずのたたきをはじめ、新たななまず料理も開発していただいた。</p> <p>なまず特販会によるラッピーランドをオープンしてなまず関連商品を販売した。</p> <p>おとしにはキャラクターなまりんもゆる玉応援団の団員として、いろいろな場所に出かけて、なまずの里吉川をPRしてきたが、他の所と比べるとまだまだ努力すべきところはある。</p> <p>今後も商工会と連携をしながらPRやイベント参加をして情報発信をしていきたい。</p> <p>そういった中で先日の新駅開業の時も、JRの駅からハイキングというイベントを一昨年からかかわっている。</p> <p>そこでもなまずの里ということでキャラクターを用いながら、協力をしている。</p> <p>県の東部、南部ではある程度知れ渡っているのではないかと思いは多少ある。</p> <p>県北、県外では知れ渡っていないのでまだまだ努力をしていきたい。</p>
水井委員	<p>今の答えを聞くと、イベントでの特産品なのか、日常的な特産品なのかを考えると私も吉川に住んで10年になりますが、なまずを用いた特産品開発は10年以上もやられていますよね。</p> <p>16年の間にどれだけなまずの特産品が世にでているか。</p> <p>私の知っている限りではなまず煎餅、福寿家のなまず料理、その他にキャラクターであるとか、ラッピーランドで売っている程度で市内でなまずの天ぷらはどこで食べられるかと聞いたときに料亭でないと出てこない。</p> <p>吉川コロッケも食べられる場所が限られている。</p> <p>何か縛りを作っている気がする。</p> <p>なまずの特産品はもっと市内で食べられなければいけない。</p> <p>現状は特産品といえるのか疑問です。</p>
事務局	<p>特産品販売会はなまずに関連しているということで参加店は7つの事業所でなかなか伸びていかない。</p> <p>太田屋さんのコロッケはなまずの特産品といえるが特販会加入の負担があつて、縛りがあるかと思う。</p> <p>その他なまず料理につきましてもいくつか料理屋以外でも扱っているところはあるがなかなか認知されない。</p> <p>なまずの養殖場もあるが、市内で取り扱う量も限られている。</p> <p>原価が安いものではないこともネックの一つ。</p> <p>なまず料理も和食に限らず洋食や中華、手軽に食べられるような料理を開発していただいて、身近なところで食べられるようになり、市内の消費を増やすことで単価を下げ、回っていけばいいと思う。今後も事業者や飲食店などと吉川の味が市民の方に広まるといいと考えています。</p>
田村副委員長	<p>何年か前の協議会でもいったが吉川はなまずの里ということでPR</p>

<p>田村副委員長</p>	<p>しているが何も宣伝していない。 例えば越谷から来て吉川に渡った途端に旗か何かでなまずの絵をぶら下げたり、浦和に行くとアルティージャの旗がたくさんある。そうするとアルティージャの街と思うが、吉川に行くと何一つない。 それをPRに使わないのか事務局に言うとマンホールや歩道橋に付いているとか、車で通ると見えない。 また吉川にはいろんななまずの絵がある。商工会のなまずや市役所のなまずがいたり、統一していない。 吉川のなまずはこれだと打ちだして、吉川に入ってきたらなまずの旗があるとか、どこを見てもなまずの絵があるとか、そういったPRをすれば吉川のなまずも知られてくる。 自分の会社もホームページでなまずを使いPRしている。 吉川中の企業もなまずをPRするようにしてもらえばなまずの里も知れてくるのではないか。</p>
<p>水井委員</p>	<p>なまずは国が推進している六次産業化のいい素材。 商業活性化としてなまずを核にした六次産業化を起こしたら吉川らしい産業振興になっていく。 なまずで知っている街があるかといったら茨城県行方市、行方商工会の平野さんという方が一生懸命行っている。 テレビやラジオにも良く出ている。 そんな動きが吉川には足りない。 16年もやっていてなまず特産品販売会になぜ7店舗しか入っていないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃる通りだとわれわれも思っています。 行方にも勉強に行かせてもらって、なまずだけでなく他の所の取組も研究して商工会、農業団体など情報交換する場や何らかの動きができればと思っています。</p>
<p>小林委員</p>	<p>インターネットを利用している若い人達を取り込めば良いのでは。例えばなまりの可愛らしさをPRしたりして、ツイッターやフェイスブックなどに参加し、若い人達に受ける取り組みをしたらどうか。また吉川出身の北斗さんにもテレビなどで宣伝してもらったら、なまりもなまずも世間に知られるのでは。</p>
<p>大倉委員</p>	<p>なま坊は知っているがなまりんはデザインは違うものなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>なま坊はなまずの里マラソンのイメージキャラクターで体育協会で作成した。 体育協会は任意団体なので市のイメージキャラクターにはならなかった。 なまりんは平成22年度に協議してなまずの女の子を作り、名前を公募して作った。 知っている方は今までなま坊からなまりんに変わって違和感があるかと思うが、なま坊は体育協会のキャラクターでなまりんは市のイメージキャラクターとして統一している。</p>

事務局	市としてはなまりんを全面にPRしていく。
田村委員	吉川のなまずはなまりんに統一したほうがいいと思う。 なま坊や商工会にもなまずキャラクターはいるが、元のデザインは統一したほうがいいのでは。
事務局	市のキャラクターはなまりんに決定しているが、なま坊に関して体育協会がなまりんに変えたいとなれば、変更することは問題ないが、キャラクター変更を依頼することは難しいと思う。 商工会のなまずに関しても商工会として会員の方がどう思われるかというところもあるので、今後はキャラクターの在り方について検討する必要がある。
松澤委員	すでに予算付けはしているが、なまずを広めるために委員会立ち上げてやってみたらどうか。
事務局	市のPRをして、お客を呼んでお店にお金を落としてもらうことになると思う。 B級グルメでいえば吉川はなまずのたたき揚げがあるが、近隣では、小松菜ぎょうぎ、チヂミバーガー、焼きそばなど手軽に作れるものが多く、いろんな店で作れるものがB級グルメとして広まりやすいのではないか。 その点たたき揚げは誰でも作れる訳でない。 観光協会と商工会で連携して仕掛け作りをし、それに商店の方がのっていただき、またキャラクターを利用してもらい、自分たちで商品開発や活動を行うという形になれば、広まっていくのではないか。
水井委員	特産品開発で例えるなら、富士宮焼きそばは知らない人がいないのではないか。 平成12年に初めて、10年余りで広まった。それはなぜかと言うと、250店舗の加盟がある富士宮焼きそば学会が、来るもの拒まず、去る者追わずという考えで、縛りをつけていない。 焼きそばの作り方10カ条のみ。加盟店に会費はとっていない。 16年経って7店舗しか広まっていないのは縛りがあるのではないか。 例えば南口のパン屋で非常に売れているが一部の人しか知らないが、それは特販会に入っていないからなのでは。 広めていくには、吉川のあちこちに食べられる場所がないといけない。 富士宮のように来るもの拒まず、去る者追わずという形で広めていかないと広がっていかない。 今の特産品開発は買う側の考えでなく、売る側の考え方が強い。
田村副委員長	7事業所しかないというのは原因がはっきり分かっていて、会費が高いから。 会費が0ならいくらでも増える。特販会の会費はいくらか。

事務局	月1万円です。
田村副委員長	それに見合う売上もないし、会自体が赤字になっているので、会員は増えない。 ラッピーランドの人件費も大きいので、会にとらわれず認証シールだけ貼ってもらった方がいいのでは。
中嶋委員長	PRがうまくいっていないのは確か。 予算もあるが、田村副委員長が言ったみたいにのぼり旗を付けて形を作ったらどうか。 防犯パトロールにしてもあれだけある。 また行方市で行方バーガーを食べたこともあるが、そこでも旗がいっぱい置いている。 女性の方に聞いたところ、まちおこしのためということで吉川と同じ。 なまずは料理屋でないと食べられないという固定観念がある。 吉川市ではもっと飲食店で食べられる方法はないかということで、これは商工会の方にもお願いしたい。 もっともっと広げるためにはやはりPRをしてどこでも気軽に食べれるというシステム作りをしなければならない。 予算もすこし頑張ってもらって、のぼり旗とか何ができるか考えてもらった方がいい。皆さんとしてはそういう意見が多かったと思う。
長嶋副委員長	吉川くらしの会の中で、吉川を見つめましょうということで、視察研修を吉川の中で見ようではないかと話がでたが実現できなかった。 どうしてかという、バスが入れない場所があるとか、せんべいの手焼き体験ができないかという、受け入れる場所がないとか、バスに乗って吉川今昔とか話して下さる方はいないのかという話と語ってくれる人がいなかった。 結局は市外に視察に行くことになった。 市内の史跡を巡って、名所めぐり、昼食を食べて、体験してみたいという消費者はたくさんいる。またなまりんのバスを吉川の中に通るだけでも宣伝になると思う。 商業、観光、道路、生涯学習との結びつきがあるだろうが、どこにどう働きかけをしたら、吉川を知ることができるかわからない。
事務局	吉川を知るところで、事業はいくつかあると思う。 広聴広報では施設や名所をめぐり事業が年2回ほどある。 また生涯学習課では、史跡をめぐりものであったり、農政課では産直めぐりで農産物を購入できるものもある。 大型バスの交通は吉川だけでなく、行けるとところ行けないところもあろうかと思う。 ガイドの関係も有名な観光地ではボランティアガイドがいて、案内してくれる所が全国でもある。 そういったものを市や観光協会で行っているところがあるか

事務局	<p>思われるが、吉川ではガイドがいませんし、ガイドする場所が少ない状況です。</p>
山本委員	<p>話を伺っているとそれぞれのメンバーの皆さんがいろいろ意見を出されて、課長が発言して全部つぶしにかかるという感じがする。</p> <p>それなら言ってもしょうがないと感じてしまう。</p> <p>一体審議会のメンバーが何をすればいいのか、よくわからなくなってしまったので、後日課へ伺って何をすればいいのか伺いたいと思う。</p> <p>先ほど北斗さんがテレビで吉川の話をしているが、あれだけPRしてくれたら、かなりの宣伝効果はある。</p> <p>だったら市として何かの役割を北斗さんをお願いするとかしてほしい。</p> <p>どんな方法を考えるにしてもあれはダメ、これはダメと言われると心配になりました。</p>
事務局	<p>そういうつもりはまったくなかったが、今の状況でこうですと説明させていただいたつもりですが、否定にとらえられたとしたならば、これは失礼なことをしました。</p>
牧田委員	<p>いろんな組織があるが、発足から何も変わっていないのでは。</p> <p>会員を増やして方法を考えていかなければ。</p> <p>また、組織がばらばらになっているので、それを一つにしなければならぬのでは。</p> <p>会費問題もそうだし、キャラクターをどんどん使ってもらって、アイデアが浮かんだらを出してもらって、会合を定期的を開いて認定すればいい。</p> <p>もう一点長嶋委員から話がありましたが、美南駅も出来て新しい住民も増えたことで、地元を知りたい人が増えていることは事実なので、イベントがあると出てくれると思う。</p> <p>越谷市でも夏休みに親子体験ツアーを企画して、だるまの顔を書いたり、せんべいの手焼きや鴨場の見学をしたり参加者は多い。</p> <p>都内のバスツアーでも通れないところもあったりするが、近くでバスを止め、歩いてもらったりしてるので、工夫したらいい。</p> <p>需要を上手くとらえる企画は必要であり、案内役も観光協会で見光ボランティアを育てることを考えたらいいのでは。</p>
事務局	<p>いくつも団体があるが、入っている会員は重複している状況であり、会員にとっては負担にもなる。</p> <p>昨年から商工会事務局で話をしているところで、会に携わっている事業者と意見交換している。</p> <p>今後事務局と事業に係わっている方との話は不定期だがお願いしてやっていきたい。</p> <p>観光協会の方で事務局として市が携わっているが、役所的な発想が染み付いた感がある。</p> <p>新しい発想で展開する必要がある。もっと工夫していきたい。</p>

<p>水井委員</p>	<p>観光の話で山梨県南アルプス市ですが、名前ばかり先行した町だったが、最近では商工会、市が中心となって事業を展開している。</p> <p>それは見て、体験して、食べて、買ってもらうをテーマに地元果樹園の方に匠の称号を与え、その人達を訪ねていくツアーを行った。丸の内のOLを対象にやっていて、ターゲットを明確に絞っている。</p> <p>また山梨県甲斐市では2000年にくわぐみジャムを作りそれをきっかけにバスツアーが5～6月にやってくる。最初はジルバー人材の方たちが下草をかったり、木を摘んでいたりしたが、これは事業になるということで今では農家の方が下草を刈ったり、木を摘んでいたり、料理をしている。</p> <p>お金うんぬんよりもいかに農家や商業者を巻き込んでその人達と一緒に参加させないと成功しないのではないかと。</p>
<p>小林委員</p>	<p>吉川のチンゲン菜料理をくらしの会で取り組んだこともあり、農産物も豊富だと思う。</p> <p>新しい料理開発をしたらよいのでは。</p> <p>北斗さんもよく料理をしたりしているので、その中で吉川特産の野菜を使ったりとか、若い人達にも提案してもらったりやったらどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今まで頂いた意見は大変参考になりました。</p> <p>このようにいろんな考えの立場のいろんな経験をされた方の視点から意見をいただくことは必要だと改めて思いました。</p> <p>他にも多くの市民の方の意見も取り入れて、事業展開していきたい。</p>
<p>水井委員</p>	<p>吉川市商工対策審議会は2年前に1回やっている。</p> <p>年に1回だけなのですが、前回の会議での進捗はどうなったか、確認はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>商工対策審議会は年に1回ということの決まりはない。</p> <p>必要に応じて開催できる。意見については何らかの形でお知らせしたい。</p>
<p>大倉委員</p>	<p>吉川美南駅が開業して、夕方6時前後に東口、西口にいったのですが、乗客が少ない。西口の方は空き地になっているが、今後何かを作る計画はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>線路跡地の部分は鉄道運輸機構の方で今年の夏に入札を行う。</p> <p>三郷市のラシティと同じ形。落札したところが開発を行うことになる。</p> <p>三郷境までの美南地区はURで住宅を分譲している。美南駅東口は区画整理の計画はあるが、遅れている。</p>
<p>大倉委員</p>	<p>美南駅東口は、商業施設系になるのか、住宅地になるのかわかりますか。</p>

事務局	おそらく、住宅系になると思う。
大倉委員	吉川美南駅の費用は。ランニングコストは。
事務局	全部で約70億円かかり、市の負担は15億円となる。
中嶋委員長	(3) その他 その他の中で商業者実態アンケートについて、事務局からお願いします。
事務局	平成22年3月に消費者のアンケート調査を行ったが、今回は商業者の方にアンケート調査を平成24年度中に行いたい。内容については、 1 事業所についての内容 2 売上動向について 3 外部からの影響について 4 これからの取り組み 5 市の要望、商工会の要望、自由意見 という内容で考えている。
中嶋委員長	ただいまのアンケートの内容について、これでよろしいでしょうか。内容の追加、修正があれば意見をお願いします。
大倉委員	なまりんの活用方法を追加したらどうか。
中嶋委員長	可能であれば、追加してください。
事務局	先ほど大倉委員からの質問でお答していなかった件について、美南駅周辺の計画は、全体で30ヘクタール、もともと線路の部分となります。そのうち近隣商業地域は駅からケーズデンキ西側は13.8ヘクタールが近隣商業地域となっている。その他は住宅地となっている。
大倉委員	吉川駅前パチンコ屋と駐車場が多いので、美南駅は品格というものを考えてもらえれば。
事務局	美南駅は縛りを作っていると聞いています。
中嶋委員長	他に意見がなければ、この委員会を終了します。吉川市を活性化するための審議会ということで忌憚のない意見をいただきありがとうございました。 閉会のあいさつ（田村副委員長）
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。	
24年 5月28日	
署名委員 田村 正夫	署名委員 長嶋 須美子